

宮古木工芸

NCルーター導入による市場ニーズに応えた製品の製作・販売の実現



代表 与儀昌樹

Background

経緯

当社は創業以来、三線を中心に木工家具の製造・販売を行っている。木材の切り出しから塗装仕上げまで一貫して製作しているのは、沖縄県内でも珍しい。また、職人がすべて手作りしていることから県内外の三線ファンから好評をいただいている。一方、木工家具は、新商品の開発や製造段階でのコストの削減、技術向上、さらにさまざまな消費者ニーズへの対応など改善すべき課題を抱えていた。

その打開策として木工家具づくりの機械化を模索していたが、自己資金では難しく、なかなか踏み切れずにいた。そんな時、本事業を知り応募したところ、採択され活用させていただくことになった。

Result

成果

自動切削機械「NCルーター」を導入したことにより、作業効率のアップ、正確でスピード感のある加工、さらに木製看板への文字彫り、複雑なデザインの彫り込み・加工といった従来ではできなかった木材加工が可能になり、多様な消費者ニーズに応えられるようになった。作業効率のアップにおいて例をあげると、「一枚板テーブルの天板の表面仕上げ」の場合、従来の手作業では8～12時間かかっていたのに対し、「NCルーター」では約30分～40分と、大幅に時間を短縮することができ、短納期への対応や多量生産も可能になった。

Content

事業内容

本事業では、木工製品の精度向上と時間短縮が図れる自動切削機械「NCルーター」を導入した。NCルーターによる木材加工は、機械にプログラムを入力し、材料をセッティングするだけで同じ製品が何度も正確に製作することができる。また、2次元だけでなく3次元など複雑なデザインも可能である。「NCルーター」は0.01mmまで設計できるため、手作業よりも精密で、仕上りの満足度も高く、職人歴50年の熟練工に匹敵する技術力を得たといっても過言ではない。



複雑なデザインと作業効率アップを可能にしたNCルーター

Outlook

今後の展望

これまで手作業では不可能と言われていた、複雑なデザインの「八角形皿」や「テーブル家具」などの新商品の開発に着手し、三線の分野だけではなく、新たな層の顧客を増やしていきたい。また、細かい文字掘りを活用し、沖縄県産木を使った表札・看板の製作、さらに子どもの「命名板」を自社ブランドとして確立していきたい。



県木を使った表札(左上)と子どもの命名板

- 代表者名／代表 与儀 昌樹
- 設立年／昭和36年(創業)
- 所在地／〒906-0013 沖縄県宮古島市平良字下里2616
- 電話番号／0980-73-3001
- FAX／0980-72-6097

- URL／<http://www.cosmos.ne.jp/~m-mokko/>
- 資本金／200万円
- 従業員数／4人
- 業種／木材・木工製品製造業